

SNS に起因する被害児童の現状

～被害にあわせないために親ができること～

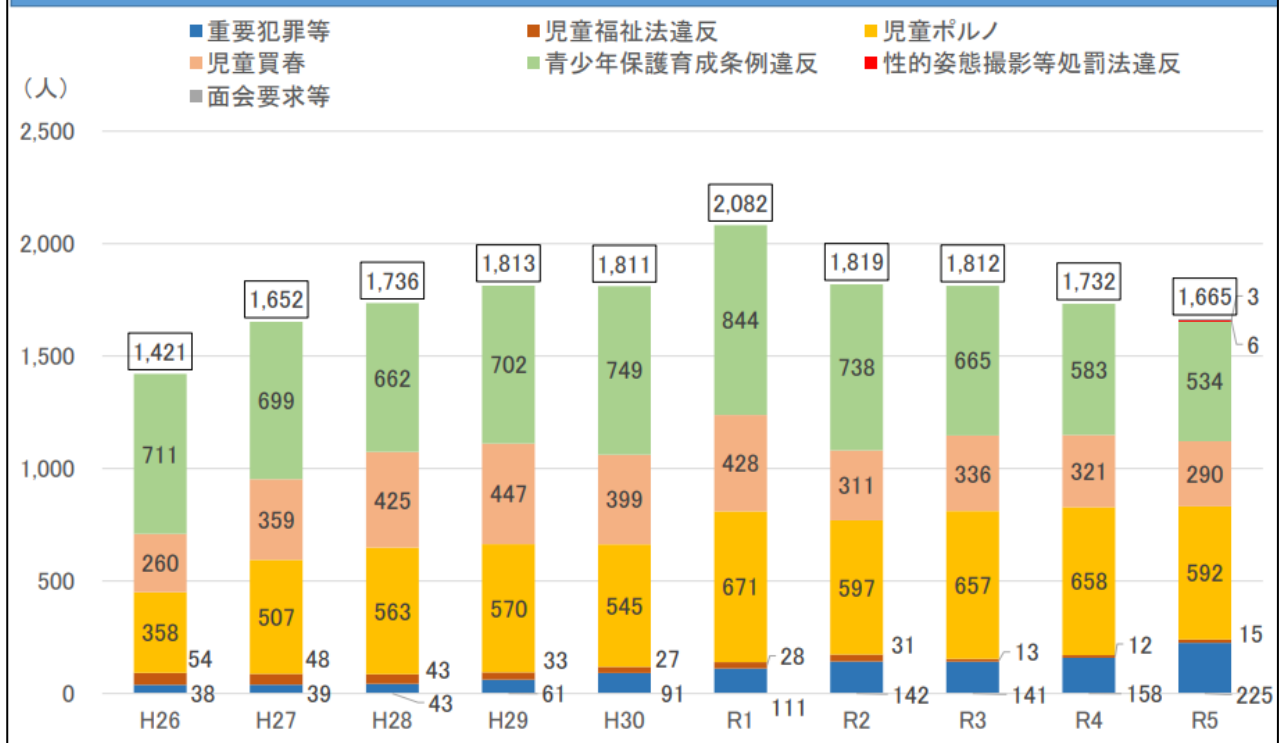
保護者向け
第5号
送信日
2024/8/6

SNS は、世界の情報がリアルタイムで分かり、自分の世界が広がります。ただし、普通の生活では出会わない怖い大人や物と、こどもがつながってしまうなど、恐ろしい世界も身近になってしまいました。

子ども部屋にいる子どもがそんな恐ろしいことに巻き込まれないように大人は何ができるでしょうか。



【SNSに起因する事犯】 罪種別の被害児童数の推移



出典：【SNSに起因する事犯】財別児童（小学生）の推移/警察庁
https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/uploads/R5kodomo.pdf

令和5年にSNSがきっかけとなった事犯の被害児童数は **1,665人** で、前年比より少し減少したものの、**高止まりしています**。内訳は、自画撮り被害などを含む **児童ポルノ事犯** が多く、みだらな性行為やわいせつな行為をされる **青少年保護育成条例違反** が次に多くなっています。

福井県では、令和5年中にSNSがきっかけとなって被害に遭った児童は **8人** で、昨年より **1名増えています**。



【被害に遭わないために】

○裸の画像は送らない

好奇心を満たす目的で、18歳未満の子の裸や下着姿の写真を持つことは法律違反です。「大切にしているから、裸の写真を撮って送って。」は、相手が悪いこと（違法行為）をしようとしているという意味だと判断しましょう。

○情報の組み合わせに注意

フォロー相手や友達との会話から名前や学校名が知られてしまうと、顔写真だけでも脅しのネタになる可能性があります。ネットだけの知り合いに、自分の秘密や内緒ごとを打ち明けるのはとても危険です。

○深みにはまってしまう前に

「自分だけは大丈夫」と思って注意を怠ることが1番危険です。「直接写真をやり取りしないこと」と「秘密を話さないこと」が大切です。また、SNS上では、ウソの書き込みや写真の偽装が容易にできるので、目に見える情報を簡単に信用してはいけません。

【家庭で学ぶデジタルシティズンシップ】

普段から、デジタル機器との付き合い方を子どもたちと話し合い、保護者の皆さんが一番の理解者であることが大切です。SNSでのトラブルは、子どもたちが誰にも打ち明けられずに、被害が大きくなる傾向があります。だから、何もトラブルに巻き込まれていないときに、家族でデジタル機器についてじっくり話し合い、

家族オリジナルの取扱説明書を作り上げておくことが大切です。

決してルールを決めて規制するものではありません。

安全な使い方を一緒に確認していくものです。

夏休みの時間があるときに、ぜひ家族で

デジタルシティズンシップについて学んで実践するのもおすすめです。



<参考>・家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/

・インターネットトラブル事例集 ~2024年版~ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

素敵なプレゼントも
あるよ

「楽しむ学ぶネットリテラシー！」 家族で学ぶネット安全教室

日時：8月17日（土）13：30～15：00
場所：鯖江市 文化の館（鯖江市水落町 2-25-28）
定員：小学生とその保護者 50組

[インターネット安心・安全利用通信 | 福井県ホームページ](#)



「子どもがネットのルールを守ってくれない」
「子どものネット利用を管理できない」

と、お子さんのネット利用に不安や
困り事を抱えている方ぜひ家族で
お越しください。悩み事を解決する
ヒントが見つかります！



<https://forms.office.com/r/1o5n8j3d6h3c3r3j3>

X(エックス)
安全安心ふくい

インターネット
安心安全通信HP

【お問い合わせ】

福井県防災安全部県民安全課

☎:0776-20-0745(直通)

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

